大東亜新聞

東京都千代田区内幸町一丁目一番地 電話(代)(59)0111 振替東京一二四二六番 一部十二円 月極三百円 東京都千代田区内幸町一丁目一番地 株式会社大東亜新聞社

社説

勤労学徒援護の構想

科学の戰力化施設を整備

研究所を新設・擴張

大陸に研究費増額

輻射線化學研生る

活材工學研

學徒一部に入營延期解止

特甲幹、被指學生生徒を召募

各大人試依然

東大に集中

本年度高校志願者數

文教政策

裝會の文教論

學界彙報

大東短信

研究集化に期待

大陸科學研を創設

研究費三千万を選定

高校入試の問題を顧みて

文部省教育研究所 佐藤得二(B)

簡拔法、研究の餘地あり

人事

各大學入學者數

學徒動勞の書

防空教室

學徒動勞の書

農家勞働の實態闡說

本邦郷土食の研究

住宅の平面計畫

住ひ方の研究

理論經濟學概要

寒い國

古今和歌集

芭蕉俳句集

海外交通史話

吉野朝時代

工業經濟統計

東亞日本語論

東亞酸鞣化學論攷

玉木文之進

久坂玄瑞

祝言

支那貿工業發達史

華僑

劍聖武藏傳

海の虎 大東亜

大聯の進出と米英の苦悩

國民的情熱の組織化

—決戦下強力要路負荷への途—

動員、行政の單一と適切を

—戦時勞働立法の動向と基底を衝く—

生産阻害に轉移

—インフレの徴候と現段階—

大國民的資質の錬成

—外地教育政策の新課題—

刊行新書考察

ミクロネシアの風土と民具　桑木野男

外邦アジアの民族と文化　石田英一郎

日本兒童宗教の研究　開寛之著

ドルプリ ユック著　兵術史

國學大系　鹿持雅澄

松宮觀山・法恕集

六人部是香集

イオン結晶論

優秀兒童家系調査

皇國醫道要綱

大東亞と日本　日本科學道

日本人の道　松下村塾の教育

同盟世界週報

ドイツ語通信講座

紅雲獨語講座

自發的に殘業願ふ

〝生産者よ學徒を信ぜよ〟

○○製作所の東大動報隊を訪ふ

生産に吹かさん〝新風〟

全學會に勤勞部を新設

學徒の勤勞觀念の活用と勤勞援護を目標

大東

〝熱々の意氣〟回天の業を遂げん

東大全學會學徒委員東大學徒隊に出發

勤勞效率化に協力

〝手待時間があるかも〟

記者團　末弘さんに訊く

大東

醫學徒の純血捧ぐ

給血奉仕隊を結成

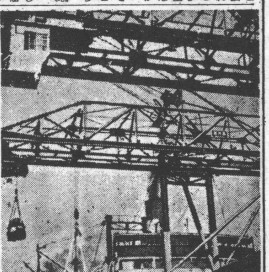
大名

學徒挺身隊の誓

研究成果の戰力化

學研改組の狙ひと方向

森田孝



氣魄の作品を渇望

吹田順助

生産者と學徒の座談會

開戰物書

郎一豐上野

隔想

學食

孤立化の飛躍を—

—國連を捨ふ補平論

遠山 啓

學界時評

理論體系の整備

宮地直一

學界の意義の高揚

—「本居宣長の研究」—

久松潛一

學物生

細胞學の貢獻

—医師なる前に獨創的研究者—

湯淺明

研究室

科學者と信念

池田誠三

「水華昂揚の勞作」

—中山伊知郎著「經濟學の一般理論」—

北野信喜男

太初に參徹するもの

—生成と形成と創造の問題—

山内得立

THE CURRENT OF THE WORLD

一月號 定價73錢(稅込)

LEADING ARTICLES:
America's War Industry and Labour Shortage ..... "The Economist"
The Pacific Ocean ..... By Dr. H. U. Sverdrup

古書賣と英學 (明治英學史XXII)
花崗愛定の面影 小堂秀雄
時事新語 佐藤佐市
Hair Attack (グラフ)
和文英譯練習問題

英語通信社
東京本郷西片町台
振替 東京 六六六六八番

古書の活用

井上書店

大東亞報

第十五號定 一月一日號

マライの建設を語る (座談會)
雪利のために
地底の大空襲
大編隊敵地爆撃
ビルマ奥地敵攻撃
ロボ蕃動敵中潜
滝、寄島、紀
漫畫に見る支那戦争
ジャワ移動部隊の一日
長谷川太郎
山川暎也
華中總社

潮新

二月號 文藝 清水基 中村武羅夫

同時代の感覚 朝田恒存
近頃の感想 河盛好蔵
人間に名馬 原孝一郎
友によせて 豊田三郎
感忠銘 中山義秀
思い出 藤原審爾
詩歌 伊藤整

藤村の文章について

文藝日錄

ドイツ語

ニューギニヤ物語

南ボルネオの土と共に

日光書院

文藝 二月號

構想 二月號

三七輯

三八輯

道報

法學協會雜誌

國際法外交雜誌

河出書房